

単元名 心の動きを言葉にして、詩を書こう

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。
- (2) 自分の思いが伝わるように言葉を選んで詩を作り、それを読み返してよりよく整えることができる。
- (3) 心を動かされたときのことを詩に書き、読み返してよりよくしようとしたり、友達の作品のよさを伝え合ったりしようとする。

標準的な展開例

04010215_001

【教材名】感動を言葉に (下 P. 77～P. 79)

【準備等】知多の友

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>★心の動きを言葉にして、詩を書こう。</p> <p>○学習計画を立てる。</p> <p>○学習の見通しをもつ。</p> <p>2 詩に書きたいことを決める。</p> <p>★詩に書きたいことを決めよう。</p> <p>○心を動かされたことを思い出す。</p> <p>・考えたこと ・思ったこと ・見たこと</p> <p>・聞こえたこと ・うれしかったこと</p> <p>・がんばっていること など</p> <p>3 詩の組み立てを考える。</p> <p>★詩の組み立てを考えよう。</p> <p>○教科書 (P. 78) 「ニンジン」「およぐ」を読み、作者は何に心を動かされたのか、どのような書き方の工夫をしているかについて考える。</p> <p>○詩の組み立てを考えて、詩を書く。</p> <p>4～6 言葉を選んで、詩を書く。</p> <p>★言葉を選んで、詩を書こう。</p> <p>○心を動かされたときのことを書き出す。</p> <p>○書き出した言葉や文の中から言葉を選んだり、組み合わせたりして詩を書く。</p> <p>○書いた作品を読み返し、整える。</p> <p>7 友達と詩を読み合い、学習の振り返りをする。</p> <p>★友達の詩の工夫を見付けよう。</p> <p>○友達と詩を読み合い、よさを伝え合う。</p> <p>○「ふりかえろう」で単元を振り返る。</p>	<p>・本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。</p> <p>・これまでに詩を読んだり書いたりしたことを振り返り、日常生活の中で感動したことなどを想起する。</p> <p>・知多の友 (P. 42) の学習の手順を読み、見通しをもたせる。</p> <p>・知多の友 (P. 43) を活用する。</p> <p>・改行の仕方や、連に分かれていること、表記の仕方に目を向けさせる。</p> <p>・知多の友 (P. 145) 「表現方法のいろいろ」を活用し、表現を工夫させる。</p> <p>・知多の友 (P. 44) を活用する。</p> <p>・できるだけ多く書き出させる。</p> <p>・知多の友 (P. 46) を活用する。</p> <p>【評】心を動かされた言葉を書き出す活動を通して、語彙を豊かにする「知識・技能」を評価する。</p> <p>・知多の友 (P. 47) を活用する。</p> <p>【評】詩を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・知多の友 (P. 49) を参考にして推敲する。</p> <p>【評】書いた詩を推敲する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・詩の音読発表会をするなど、クラスの実態に応じてまとめをする。</p> <p>・知多の友 (P. 49) を活用する。</p> <p>・「ふりかえろう」「たいせつ」を読み、身に付けた力を押さえる。</p>

【 備 考 】